

生徒・保護者・教員アンケート結果

令和2年2月27日

練馬区立開進第二中学校
校長 指田 和 浩

令和元年度 よりよい学校づくりを目指して

令和元年12月にお願いいたしました「よりよい学校づくりを目指して」保護者アンケートには多くの皆様にご協力をいただきありがとうございました。集計結果を以下のようにまとめました。皆様の貴重なご意見を参考に、令和2年度の教育課程に生かしてまいりたいと思います。

《グラフの見方》

そう思う

 概ねそう思う

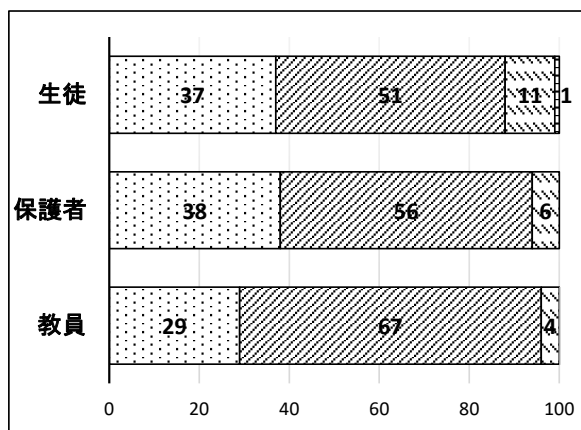
 あまり思わない

 思わない

アンケート回答数 生徒:353名(93.9%) 保護者:305名(87.9%) 教員:24名(100%)

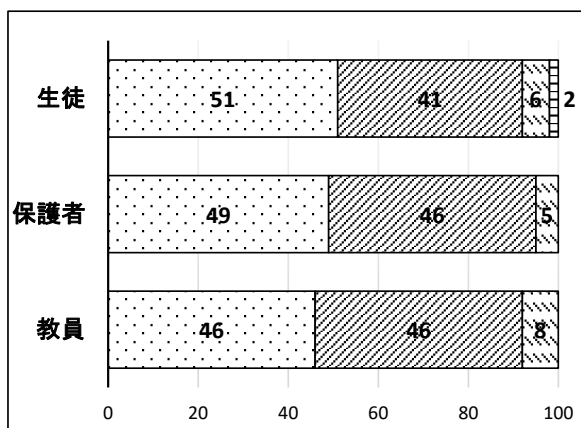
1. 学校運営について

①教育目標や経営方針を分かりやすく保護者や地域に伝えている。



生徒の88%、保護者の94%が肯定的な評価をしていますが、保護者からは、3学年の進路説明会で使用したプロジェクトの画面が見づらかったり、分かりにくかったというご意見や、学校評価アンケートの設問に対して「分からない」と回答したい保護者の回答方法について検討してほしいというご意見などをいただきました。来年度に向けて、改善を図るとともに、授業公開、道徳授業地区公開講座、セーフティ教室、人権講演会などの取組を一層充実させてまいります。

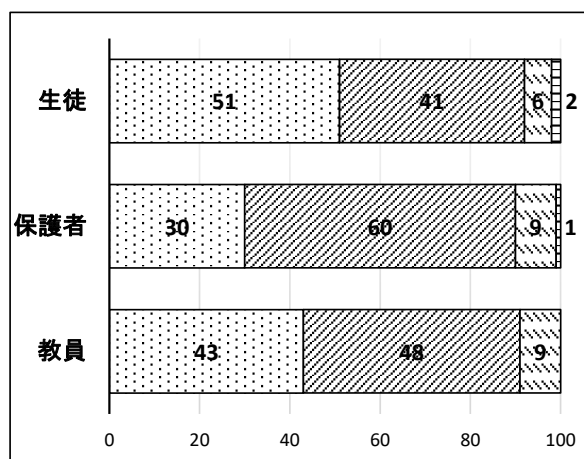
②学校だよりや学年だより・HP等で日常の教育活動をわかりやすく伝えている。



生徒の92%、保護者の95%が肯定的な評価をしており、学校の様子を伝えるため、学校だより、学年だよりの定期的な発行、ホームページの活用は有効に機能していると考えます。しかし、保護者からは、学校だよりの文字が細かいので見やすくしてほしいというご意見や、学年だよりの情報量が多いというご意見、ホームページで部活動についての内容をもっと発信してほしいというご意見などをいただきましたので、来年度に向け、改善を図ってまいります。

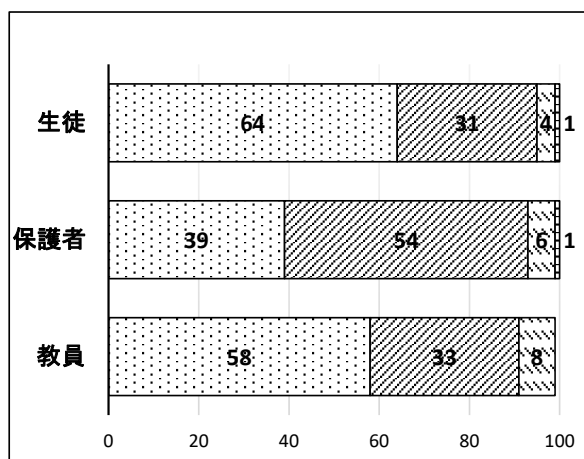
2. 教育活動について

①本校の良き伝統を理解させ、誇りがもてるような教育活動を行っている。



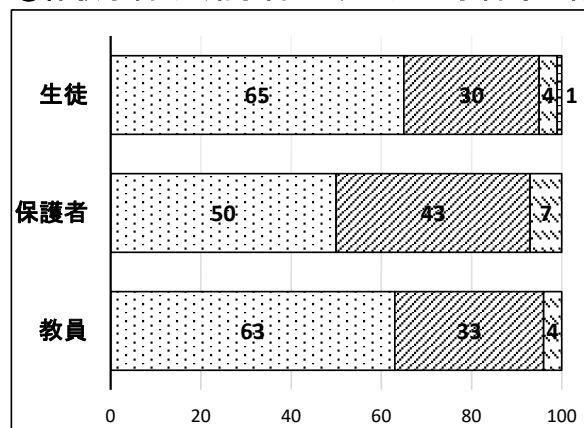
生徒の92%、保護者の90%が肯定的な評価をしており、授業や体験学習等に対する生徒の取組に対しては、全体的に一生懸命取り組んでいるという声を、保護者からいただいています。今後とも、生徒が誇りをもって取り組んでいけるよう、生徒の夢や理想を温かく受け止めながら、その実現に向け励まし支援していくことや、生徒自身の自尊感情及び自己肯定感の向上につながる指導を、授業や道徳をはじめ全教育活動を通して充実させてまいります。

②様々な場面での思いやりの心の育成や、人権を尊重する教育活動を行っている。



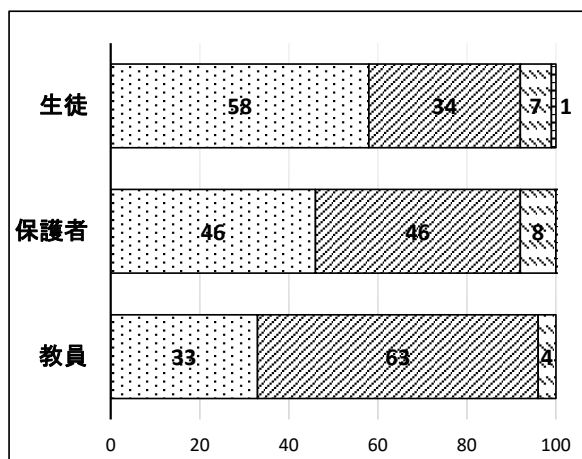
生徒の95%、保護者の93%が肯定的な評価をしています。本校は、東京都の人権尊重教育推進校の指定を受けており、「体験活動を通して思いやりの心を育てる教育の推進」をテーマにした研究を進めています。保護者からは、人権教育に力を入れている校風が生徒に浸透しているなどのご意見をいただきました。来年度は、カリキュラム・マネジメントの視点に立って、人権教育と教科等の目標をそれぞれ実現する教育課程の編成を進めてまいります。

③体験学習・進路学習・ボランティア学習等の行事は充実している。



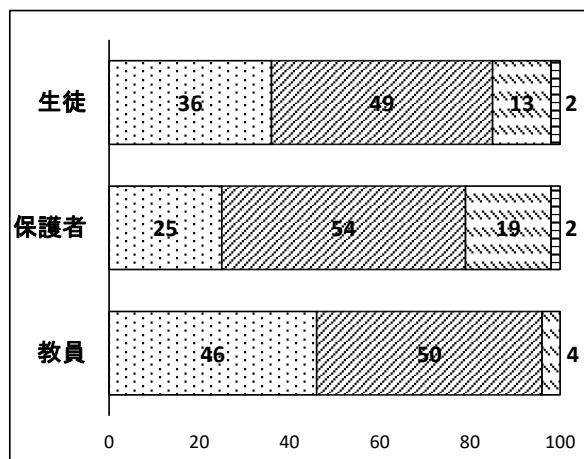
生徒の95%、保護者の93%が肯定的な評価をしています。本校では、人権教育、キャリア教育、国際理解教育等の視点に立った体験学習を進めています。保護者からは、ボランティア体験は1年生のときもやってほしいというご意見や、修学旅行の宿泊行事の在り方についてのご意見をいただきました。これらのご意見について検討を図るとともに、今後もそれぞれの体験学習を通して、生徒一人一人に自分の将来の生き方についての意識をもたせるような指導を行ってまいります。

④部活動や生徒会活動は盛んである。



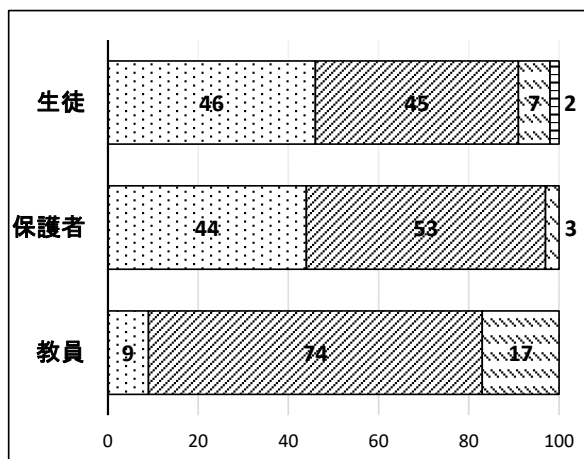
生徒、保護者の92%が肯定的な評価をしています。本校の部活動の加入率は、全国や東京都の平均よりも高く、運動部、文化部に関わらず大変活発です。どの部も公式戦や学習発表会に向けて、それぞれ目標をもって前向きに取り組んでいます。保護者からは、公式戦や練習試合で遠征する際、雨天による中止の連絡の在り方についてのご意見や、夏の猛暑時の活動の在り方についてのご意見などをいただきましたので、改善を図ってまいります。

⑤保護者と家庭との連携を密にとっている。



生徒の85%、保護者の79%が肯定的な評価をしていますが、保護者の肯定的なご意見は、他の設問に比べ低かったです。保護者からは、学習指導、生活指導、進路指導等で、もっと学校と連携を密にしていきたいというご意見をいただきました。これらのご意見を踏まえ、教員から保護者への情報提供を頻繁に行うとともに、保護者が教員へ相談しやすくなるような体制づくりを進めてまいります。また、PTA等のご協力をいただきながら、日頃から保護者と顔の分かる関係づくりにも努めてまいります。

⑥教室の掲示物や環境美化、清掃活動がきちんと行われている。

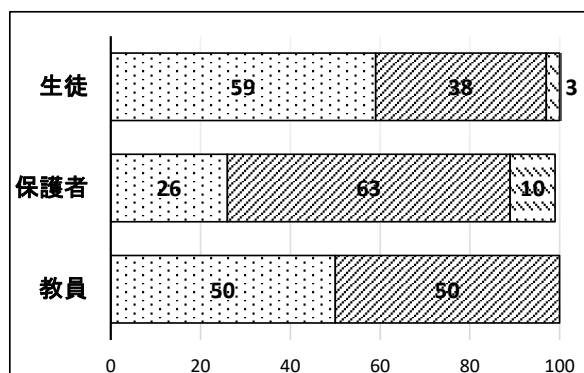


生徒の91%、保護者の97%が肯定的な評価をしています。教室の掲示物や環境美化は、人権教育の取組にもつながると考えます。また、生徒や保護者に比べ、教員の肯定的な評価が83%と低かったのが特徴的でした。教員からすれば、もっと環境美化を進めたかったと考えているのだと思います。今後とも、「校内の美化」に積極的に取り組ませ、教室や廊下等の掲示物の充実を図ることにより、生徒の心に落ち着きを与える環境づくりを進めてまいります。

3. 教科指導について

①本時の目標を示し、生徒が考えたり活動したりする場を設定した授業が行われている。

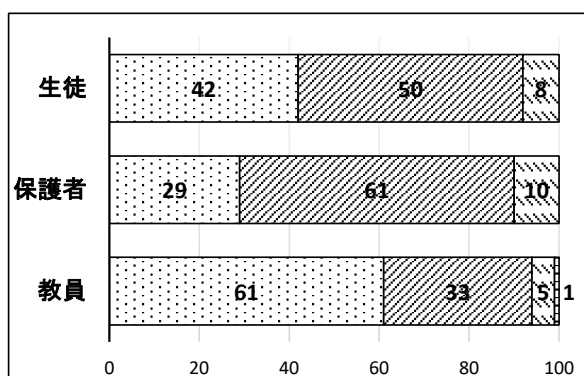
(令和元年度から)



生徒の97%、保護者の89%が肯定的な評価をしています。どの教員も本時の目標を明示し、考える場面や活動を取り入れた授業を行うようになってきました。保護者からは、社会の扉へ近づいていく子供たちへ、とても熱心に指導していただき感謝しているというご意見をいただきました。新学習指導要領の趣旨を踏まえ、今後とも、本時の目標を明確化し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業づくりを一層進めてまいります。

②ペア及びグループでの話し合い活動や、発表を位置づけた授業が行われている。

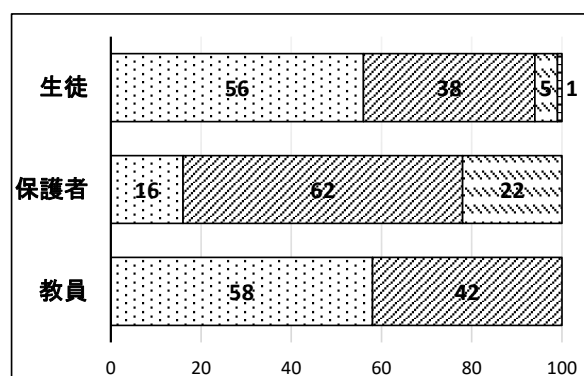
(令和元年度から)



生徒の92%、保護者の90%が肯定的な評価をしています。どの教員も授業にペア学習やグループ学習を計画的に位置付けるようになってきました。保護者からは、ワークシートやノートを細かいところまで見ていただき、本人のやる気につながっているというご意見をいただきました。今後とも、生徒一人一人の主体性や思考力を高めるために、書く場面をはじめ話し合う場面や発表する場面を位置付けた授業づくりを一層進めてまいります。

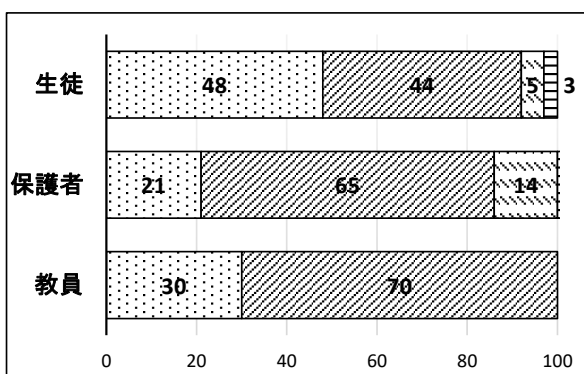
③ICT機器の活用など、わかりやすく工夫された授業が行われている。

(令和元年度から)



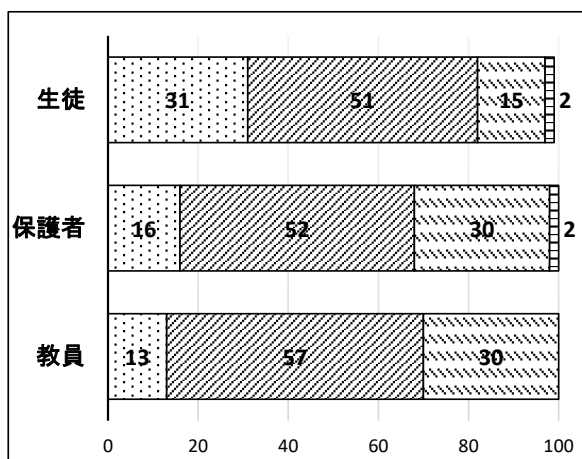
生徒の94%、保護者の78%が肯定的な評価をしています。生徒に比べ保護者の肯定的な回答の割合が低くなっています。保護者からは、子供の興味・関心を高めるための授業づくりや基礎学力を高めるための指導を行ってほしいというご意見をいただきました。生徒たちの興味・関心を高めるために、ICT機器を有効に活用したり、工夫した教材を作成したりすることにより、分かりやすく工夫された授業づくりに今後とも努めてまいります。

④学習成果の評価は適切で、授業の進行もしっかり行われている。



生徒の92%、保護者の86%が肯定的な評価をしています。保護者からは、受験を控えて、もっと学習評価を踏まえたアドバイスをほしかったというご意見をいただきました。観点別学習状況評価の評価規準や評価・評定方法などについては、生徒だけでなく、5月の教育課程説明会を通して、保護者にも説明しています。進路指導については、生徒へのアドバイスや支援の在り方をもっと充実させるよう、今後改善を図ってまいります。

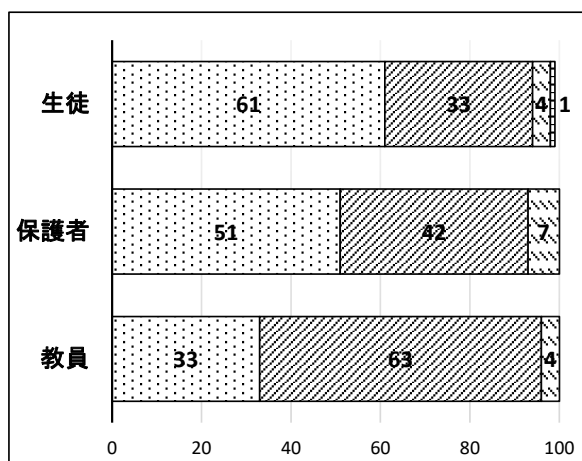
⑤予習・復習などの学習習慣を身に付けるような指導が行われている。



生徒の82%、保護者の68%が肯定的な評価をしています。生徒に比べ、保護者の肯定的な評価の割合が低くなっています。保護者からは、家庭学習をもっと定着させたいというご意見や、もう少しかみくだいて具体的な学習方法を教えてほしいというご意見などをいただきました。学校と家庭で連携を密にしながら、補充教室の在り方や宿題の出し方など、生徒一人一人の学習習慣づくりや、主体的に学習に取り組む態度を身に付けていくための指導に一層努めてまいります。

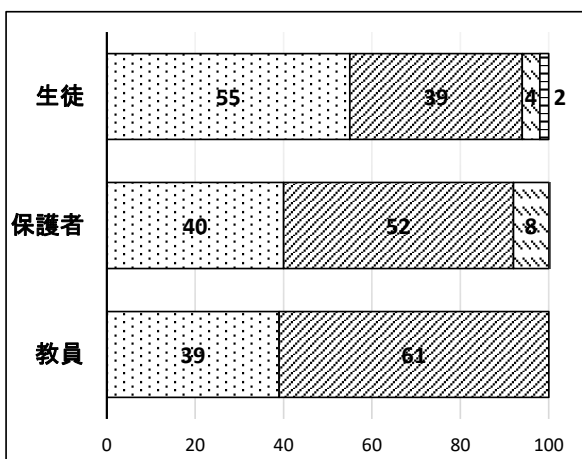
4. 生活指導について

①挨拶・時間を守る等の基本的な生活習慣を身に付ける指導が行われている。



生徒の94%、保護者の93%が肯定的な評価をしています。しかし、保護者からは、以前に比べ挨拶の声が小さくなったとか、挨拶をしない生徒がいたなどのご意見や、行事の際のお辞儀が雑になったなどのご意見をいただきましたので、改善を図ってまいります。また、時間については、チャイム着席はよく守られていますが、時間ぎりぎりに登校する生徒もいるので、時間に余裕をもたせて行動できるような指導も引き続き行ってまいります。

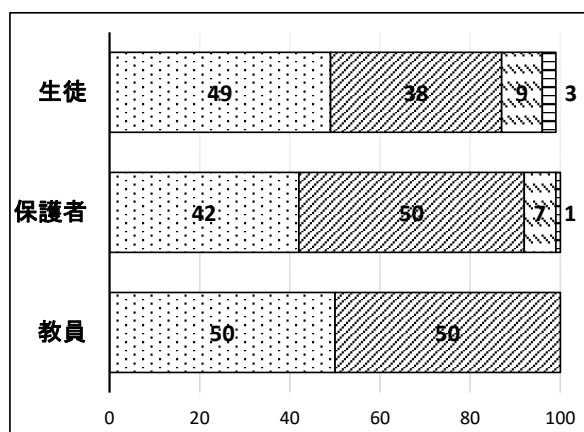
②生徒の健康や安全について配慮しながら適切な指導が行われている。



生徒の94%、保護者の92%が肯定的な評価をしています。しかし、保護者からは、猛暑時における部活動の練習の在り方についてのご意見や、移行期間中における服装について、もう少し柔軟にしてほしいというご意見などをいただきました。また、給食の実施回数や献立内容等についてのご意見もいただきました。これらのご意見については、今後検討していくとともに、安全教育（生活安全、交通安全、災害安全）に関わる教育活動を一層推進させてまいります。

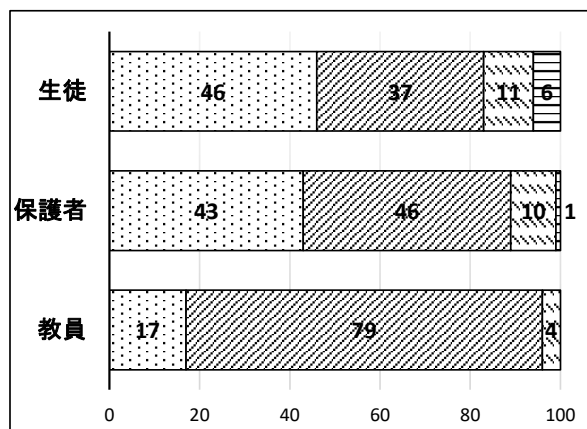
5. その他

①教職員は生徒に対して親身になって対応している。



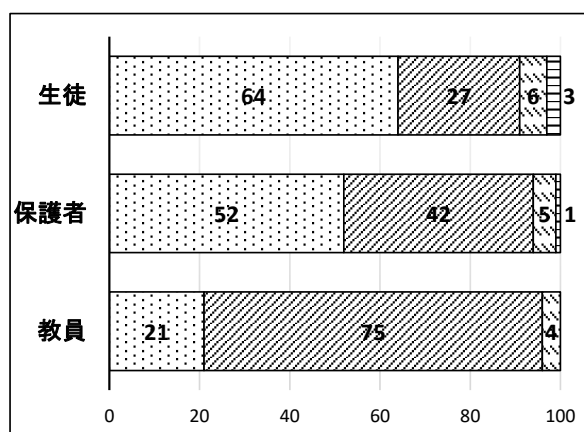
生徒の87%、保護者の92%が肯定的な評価をしています。生徒の割合が保護者よりやや低い結果となりましたが、保護者からは、日頃の指導に感謝しているという声が多かったです。しかし、生徒への対応や部活の指導が、教員によって差があるなどのご意見もいただきました。改めて人権教育の視点に立った学習指導や生活指導の在り方について、全教職員が共通認識できるよう、職員会議や研修会などを通して、指導にあたってまいります。

②生徒たちは、学校に行くことを楽しいと感じている。



生徒の83%、保護者の89%が肯定的な評価をしています。ふざけ合いやからかいがあったので、それらのことが起こらないようにしてほしいというご意見や、これから多くの方が楽しく安心して登校できる学校にしてほしいというご意見をいただきました。今後とも、授業、学校行事、部活動など、様々な場面を通して、生徒が楽しさを実感できる環境づくりを進めるとともに、関係諸機関と連携を図りながら教育相談活動のさらなる充実を図ってまいります。

③生徒(お子さん)を安心して登校させられると感じている。



生徒の91%、保護者の94%が肯定的な評価をしています。保護者からは、一人一人の個性を伸ばす教育を進めてほしいというご意見や、生活指導が生じた場合は、保護者への連絡を早くしてほしいというご意見などをいただきました。今後とも、全教職員の共通理解のもと、いじめや不登校などの未然防止や初期対応のさらなる徹底を図るとともに、保護者への連絡の迅速化や保護者との連携の緊密化に一層努めてまいります。